

「医療ソーシャルワーカー」って何をする人なの？

医療福祉相談室の紹介



現在、大阪鉄道病院の医療福祉相談室には4名の医療ソーシャルワーカーがいます。

近年、各病院でその名前を聞くようになってきている医療ソーシャルワーカーで

すが、「実際には何をする人なの？」と思われる方も多いのではないのでしょうか。そこで、簡単ではありますが紹介させていただきます。

病気やけがなどで病院にかかれた際、「治療費がどれくらいかかるのだろうか？」「これからの生活はどうしていったらいいだろうか？」など様々な不安や問題が出てきたとき、「どこに言いに行ったらいいのだろうか？」「誰に聞いてもらえばいいのだろうか？」と抱え込まれる方も多と思います。

そのような時に、医療ソーシャルワーカーは、社会福祉の立場から患者さんやご家族が抱える様々な問題を一緒に考え、安心して治療やリハビリに専念できるよう、サポートを行っています。

また、問題解決に向けては、院内のスタッフや地域の医療・保健・福祉機関などとの連携をとるようにもしています。

悩みを話すことは大変なことですし、問題を見つけることも難しいかもしれません。患者さんにご家族の状況に合わせて、アドバイスや援助を行い一緒に解決できるよ

うサポートしていきますので、何でもお気軽にご相談ください。

受付時間は、月曜日～金曜日の9：00～17：00となっています。あらかじめご予約をいただきましたらお待たせいたしません。直接お越しいただいた場合、お待ちいただくことがありますのでご了承ください。



整形外科医長

禱 史明 (いのり ふみあき)



大阪鉄道病院整形外科の紹介をさせていただきます。歴史的には後藤一平部長が20数年前に赴任して以来、阿倍野区を中心とした大阪市南部の地域に密着した形の整形外科として発展して参りました。その医療圏は広く大阪市内はもとより八尾市、松原市や奈良県にまで及んでいます。そして7年前に手の外科専門の遠山雅彦副部長が赴任してからは紹介患者さんが一段と増え、3次救急以外のあらゆる骨折に対応する整形外科としての地位を築きあげました。さらに昨年4月に私と吉田拓医長の二人が関節チームとして赴任してからは人工関節手術を希望される紹介患者さんが増え、人工股関節・膝関節手術件数においても大阪府下で有数の病院となることができました。

我々の専門である人工関節への取り組みについて少し紹介させていただきます。まず人工股関節については皮膚切開が9cm以内で筋肉への侵襲がない小切開前方アプローチをメインに手術を行っております。また術中術後回収血輸血装置を用いるため術前の自己血貯血もなく他人からの輸血も行っておりません。次に人工膝関節については術中に靭帯バランスを測りつつ骨切りを行う方法を採用しており、これによりよく曲がりぐらつきのない膝関節を実現しております。また術後止血対策も施しているためこちらも術前の自己血貯血もなく他人からの輸血も行っておりません。そして両方とも埋没真皮縫合を採用しており抜糸は必要なく手術創も目立ちにくくなっており、かつ術後の回復も早く2週間から3週間での退院も可能となっております。

上記に挙げた以外にも脊椎疾患、スポーツ外傷（特に股関節鏡）、リウマチ、大腿骨頸部骨折、外反母趾、骨粗鬆症など多くの疾患の手術的治療と保存的治療（理学療法など



手術以外の治療方法）に取り組んでおります。小児疾患と腫瘍に関しては近隣の大阪市大病院等に紹介させて頂いております。

整形外科に関わる各部門についても紹介させていただきます。

まず外来は非常に患者数が多くお待たせしてご迷惑をかけることが多いかと感じております。我々

も院内で一番早くオープンして対応するなど努力はしているのですが診療室数とマンパワーに限りがあり難しい所があります。流れをスムーズにするなど工夫はして参りますが、診療内容により、順番



▲屋上庭園

が前後する場合がございますので、ご理解をお願いします。また保存的治療の患者さんは開業医の先生の所に逆紹介して治療して頂く等、ご協力をお願いすることもあるかと存じますのでご理解のほどお願い致します。

病床は5階病棟47床を中心に入院して頂いております。この病棟は屋上庭園にも隣接しておりリハビリも行きやすくいい環境だと思います。手前味噌ですがスタッフも明るく非常に熱心にかつ親切に接してくれると患者さんから褒めの言葉を頂いております。我々医師もコメディカルと定期的に勉強会（飲み会？）を開き、情報の共有化と連携の強化を図っております。

手術室にはクリーンルームがあり人工関節の手術はそこで行っております。また麻酔科専門の医師も常勤でおり、安心して手術を受けて頂ける環境となっております。こちらのスタッフの対応もよく患者さんから好評を頂いています。

リハビリスタッフと施設も充実しており、脳血管疾患リハ、運動器リハ、呼吸器リハの施設基準Iを取得しております。そして入院患者さんは2階の広いリハビリルームで身体訓練（PT）及び職業訓練（OT）を受けて頂けるようになっております。

このように地域に密着した患者さんにやさしい病院でありかつ専門性の高い中核病院としての整形外科を目指して日々研鑽しております。鉄道病院に「イコカ（JR西日本のICカードはICOCA）」という感じで気軽に多くの患者さんが来られることをお待ちしております。なおご来院の際は、是非かかりつけ医の紹介状をお持ち下さい。

最後にこの4月からは脊椎外科専門の小西定彦先生が大阪市立総合医療センターより赴任します。小西先生は大阪市大病院で教鞭を振るったこともある先生であらゆる脊椎脊髄疾患の治療に精通しており、顕微鏡を使用した最新の脊椎手術も行っております。脊椎脊髄疾患でお困りの患者さんがおられましたら是非ご来院下さい。

ボランティアを募集しています

大阪鉄道病院では、患者さんが心の安らぎを得られ、また安心して治療が受けられるより良い環境づくりをしていくことを目的にボランティアの受け入れをしています。

通院や入院患者さんのために皆様の温かいボランティア活動をお願いいたします。

活動日時

毎週月～金曜日（8時30分～14時）
活動曜日・時間については相談させていただきます。
土曜・日曜・祝日の活動はありません。

活動内容

- 外来再来受付機の操作のお手伝い（9時～11時）
- 院内の案内誘導
- 車椅子移送介助



- 園芸（屋上庭園の手入れ）
- 移動図書（病棟）
- 生け花
- 入院患者さんのお話し相手
- その他

参加対象

18歳以上の方

＜お問い合わせ＞

大阪鉄道病院 看護部長室または総務課
TEL.06-6628-2221



健康レシピ 春の旬

ようやく待ちに待った春の訪れですね。今回は、旬のたけのこを使ったレシピのご紹介です。

たけのこには血圧を正常に保つ、筋肉の収縮をスムーズにする、腎臓での老廃物の排泄を促すなどの作用のあるカリウムと消化吸収を緩やかにする食物繊維がたっぷり含まれます。ホタテには肝臓を強化するタウリンが多く含まれます。栄養をしっかり摂って元気に春を迎えましょう！



＜ホタテとたけのこの炊き込みご飯＞6人分

- ① 米2カップは炊く30分前にとぎ、ざるにあげて水気をきる。ホタテの水煮缶1缶もざるにあげて身と汁にわけておく。
- ② たけのこ150gとしいたけ3枚は薄切り、にんじん20gは千切り、油揚げ1枚は油抜きし、短冊切りにする。
- ③ 鍋にしょうゆ大さじ1・みりん大さじ2・ホタテ缶の汁1缶分・塩小さじ1/2・水1/2カップを煮立て、具材を入れてひと煮立ちさせる。ざるにあげて具と煮汁にわけておく。
- ④ 米を炊飯器に入れて煮汁を加え、水を足して通常の水加減にし、炊く。炊き上がったなら具を加えて蒸らし、全体を均一に混ぜる。

（245Kcal 塩分1.3g）

大阪鉄道病院の花ごよみ

大阪鉄道病院では1階外周部と5階屋上に植栽を設けており、その植栽の中から季節にちなんだ植物を紹介していくシリーズの第4回目は春の花です。冬とは違い春に咲く花の種類は多くあります。その中で今回紹介するのは春の季語にもなっているヤマブキ（バラ科）です。

背丈は1mからせいぜい2mで、樹木ではあるが茎は細く柔らかい。北海道から九州まで分布し、国外では中国に産します。古くから親しまれた花で、晩春に明るい黄色の花を多数つけます。花は一重のものと八重のものとがあり、特に八重先咲き品種が好まれます。

山吹色といえば、オレンジ色と黄色の中間色のことで、往々にして小判の色にたとえられます。（山吹色のお菓子…小判の隠語）

また大阪府三島郡島本町、京都府宇治市、京都府綴喜郡井手町では市町村の花に指定されています。



「健康講座」開催のご案内

4月 日時 平成25年4月23日（火）
場所 大阪鉄道病院 講堂（3階）
講師 大阪鉄道病院 耳鼻咽喉科 岡田 博文
内容 決定次第ホームページ等でお知らせします。

5月 日時 平成25年5月28日（火）
場所 大阪鉄道病院 講堂（3階）
講師 大阪鉄道病院
リハビリテーション科 上村 洋充
内容 決定次第ホームページ等でお知らせします。

6月 日時 平成25年6月18日（火）
場所 大阪鉄道病院 講堂（3階）
講師 大阪鉄道病院 泌尿器科
内容 講師名を含め、決定次第ホームページ等でお知らせします。

★定員60名・無料

★予約は不要です

どなた様も、ご自由にお越し下さい。